

全日病発第 284 号
平成 29 年 12 月 4 日

各 位

公益社団法人 全日本病院協会
会 長 猪 口 雄 二
一般社団法人 日本医療法人協会
会 長 加 納 繁 照

平成 29 年度 第 3 回 AMAT 隊員養成研修（東京会場）開催のご案内 （災害時医療支援活動に関する研修）

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会事業活動につきまして、ご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

かの東日本大震災においては、被災した民間病院に対する支援が十分に行き届かなかったことから、当協会の災害医療支援活動体制の見直しを図り、（公社）全日本病院協会 災害時医療支援活動班を「All Japan Hospital Medical Assistance Team」略して「AMAT」と定め、会員病院を始めとする民間病院や避難所の巡回診療、患者の病院間搬送、多様な医療チーム等との連携を含めた災害医療活動が可能な体制を整えたところでございます。

その結果、昨年の熊本地震では、迅速に災害対策本部を立ち上げ、AMAT を民間病院、避難所へ派遣して医療支援活動を実施することができました。このような迅速で組織的な支援を可能としたのは、当協会が実施する標記「AMAT 隊員養成研修」において、被災地で組織として災害医療活動をするための訓練を受けていただいたからだと自負しております。

「AMAT」は相互扶助の考えに基づいて作られた組織です。現在、AMAT 隊員数は 600 名を超えましたが、今後発生が予想される南海トラフ地震、首都直下地震等に対応するには十分な数ではございません。皆様におかれましては、本研修の趣旨をご理解いただき、是非ともご参加いただきたくご案内申し上げます。

なお、今後この「AMAT」は、「DMAT」や「JMAT」などと連携し、「DMAT」に準ずる医療チームの養成を目指す所存でございます。

また、これまで 3 名 1 チームの参加を要件としておりましたが、今回より受講要件を改定し、1 名からの参加も可能でございます。詳細は「5. 受講要件」をご確認ください。

記

1. 主 催 公益社団法人 全日本病院協会、一般社団法人 日本医療法人協会
2. 日 時 平成 30 年 1 月 20 日（土）11:00～18:35（終了後、懇親会開催予定）
平成 30 年 1 月 21 日（日）09:30～15:40
3. 会 場 レンタルプレイスなかぎん 4 F 「会議室パイン」
〒104-0061 東京都中央区銀座 8-16-13 中銀城山ビル 4F
TEL : 03-5283-7441

4. プログラム【予定】

●1日目

No.	時間	内容
1	11:00～11:05	開会挨拶
2	11:05～11:35	【講義 全員】01 AMAT概論－AMATの具体的な活動－ 医療法人社団直和会 平成立石病院 副院長 大桃 丈知
3	11:35～12:05	【講義 全員】02 災害時要援護者 大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 講師 大西 光雄
4	12:05～12:15	休憩
5	12:15～12:45	【講義 全員】03 災害概論（CSCATTT） 社会医療法人鴻仁会岡山中央奉還町病院 院長 小林 良三
6	12:45～13:35	【実習 全員】04 派遣シミュレーション①（設問1・2） 日本医科大学大学院 准教授 布施 明 社会医療法人河北医療財団 河北総合病院 救急部医長 安倍 晋也
7	13:35～14:25	休憩
8	14:25～15:05	【講義 全員】05 トリアージ 武蔵野赤十字病院 救命救急センター部長 勝見 敦
9	15:05～15:10	休憩
10	15:10～16:40	【実習 トリアージ】 06 トリアージタグの記載について（トリアージ机上訓練・タグ記入） 青梅市立総合病院 救命救急センター部長 肥留川 賢一
		【講義・実習 ロジスティクス】 07 ロジスティクスの基本・通信確保と衛星電話（実習） （独）国立病院機構災害医療センター 厚生労働省DMAT事務局 市原 正行 岩手医科大学 災害時地域医療支援教育センター 講師 奥野 史寛
11	16:40～16:55	休憩
12	16:55～17:25	【講義 全員】08 医療連携、関係機関の役割 一般社団法人日本海員掖済会 名古屋掖済会病院 副院長 北川 喜己
13	17:25～18:25	【実習 全員】09 災害時の情報通信（デモ通信） 日本医科大学大学院 准教授 布施 明
14	18:25～18:35	【全員】質疑応答、一日目まとめ 日本医科大学大学院 准教授 布施 明

●2日目

No.	時間	内容
1	09:30～10:00	【実習 全員】10 派遣シミュレーション②（設問3） 日本医科大学大学院 准教授 布施 明 社会医療法人河北医療財団 河北総合病院 救急部医長 安倍 晋也
2	10:00～10:40	【講義 全員】11 AMAT活動の実際 総合病院国保旭中央病院 救命救急センター長 高橋 功
3	10:40～11:10	【講義 全員】12 災害時に留意すべき疾病 大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 講師 大西 光雄
4	11:10～11:20	休憩
5	11:20～11:50	【実習 全員】13 派遣シミュレーション③（設問4） 日本医科大学大学院 准教授 布施 明 社会医療法人河北医療財団 河北総合病院 救急部医長 安倍 晋也
6	11:50～12:20	【実習 全員】13 派遣シミュレーション③（設問5） 日本医科大学大学院 准教授 布施 明 社会医療法人河北医療財団 河北総合病院 救急部医長 安倍 晋也
7	12:20～13:10	休憩
8	13:10～14:10	【試験 トリアージ】筆記（20分）及び実技（40分） 【試験 ロジスティクス】筆記（20分）、休憩40分
9	14:10～15:30	【講義 全員】テーマ未定
10	15:30～15:35	【全員】試験結果発表、講評
11	15:35～15:40	閉会挨拶

5. 受講要件 ①トリアージ

原則として医師、看護師、保健師、助産師、救急救命士

②業務調整員（ロジスティクス）

病院勤務者

※注 ただし、AMAT 派遣時の最小構成員数は医師 1 名、業務調整員（ロジスティクス）1 名を必須とした 3 名以上のチームとなり、そのうち 1 名は AMAT 隊員養成研修の受講が必須となります。

6. 参加費 会員 54,000 円（税込） 非会員 64,800 円（税込）

※注 参加費には AMAT 隊員登録証発行費用、AMAT ベスト、AMAT ヘルメットの費用が含まれています。

7・定員 60 名（先着順）

8. 申込方法
- ・ 申込用紙に必要事項をご記入のうえ、FAX にてお申込みください。おって「確認書・参加費お振込のご案内」を FAX にてお送りいたしますので、送付された案内をご確認のうえ、参加費を指定期日までに振込みください。
 - ・ 定員を超えている場合にはご連絡いたします。

9. 申込期限 平成 30 年 1 月 5 日（金）

10. 備考
- ・ 交通・宿泊・昼食については各自でご手配ください。
 - ・ 参加申込の際にお送りいただいた個人情報は適切に処理し、本研修の目的以外には使用いたしません。
 - ・ 受講修了者には後日、AMAT 隊員登録証、AMAT ベスト、AMAT ヘルメットをお送りいたします。

【問合せ】

公益社団法人 全日本病院協会（担当：吉田、向井、松村）

〒101-8378 東京都千代田区猿楽町 2-8-8 住友不動産猿楽町ビル 7F

TEL 03-5283-7441 FAX 03-5283-7444

交通のご案内

全日本病院協会 第3回 AMAT 隊員養成研修（東京会場）



1. JR線「新橋」駅 銀座改札口を出ます。
2. 目の前の横断歩道を渡り、160m直進します。
3. 左の横断歩道を「新橋 玉木屋」の方に渡ります。
4. 右の横断歩道を「宮越屋珈琲」の方に渡ります。
5. 約120m先のドン・キホーテの前を通過した後、横断歩道を渡り、歩道橋の階段を上がります。
6. 「昭和シェル石油」側の歩道橋を高速道路側に下ります。
7. 約70m先のコンビニ「ポプラ」が1階にあるビルが「中銀本社ビル」です。

- 会場：レンタルプレースなかぎん
4F「会議室パイン」
〒104-0061
東京都中央区銀座8-16-13
中銀城山ビル4F
TEL：03-5283-7441

- アクセス
・JR新橋駅 徒歩約8分

【会場URL】

http://www.rentalplace.jp/wp-content/uploads/2017/06/RPN_Route_ShinjushiJR-3.pdf

